

グローバルフェスタに31OB会

日本最大級の国際協力関係のフェスティバル「グローバルフェスタ JAPAN 2016」が10月1日〜2日、東京のお台場セントラルプラザで開催され、2日間でおおよそ10万人が訪れた。今年のテーマは、「For the First Step」(新しい目標に向かって)。「昨年、国連総会で採択された「持続可能な開発目標SDGs」を踏まえ、国民の生活と17の開発目標が、どのように私たちの暮らしに関わっているのか、知識や理解を深めるテーマで開催された。

出展団体は269、そのうち31団体が協力隊のOB会だ。任国の珍しい料理や雑貨などを販売しながら、来場者と直接話ができるのもフェスタの醍醐味。さまざまな



小さな子どもを抱きながらブース運営をする協力隊OG

人たちが関わるグローバルフェスタに、毎年欠かさず参加している。協力隊OB会の出展は、協力隊事業の広報や応募者の拡大にも大いに役立っている。

スポーツを通じた国際協力 今後も推進

JICAの北岡伸一理事長は10月21日、文部科学省主催のスポーツ・文化・ワールド・フォーラムのスポーツ大臣会合で、JICAが取り組むスポーツを通じた国際協力について講演し、「スポーツにおいて最も重要なのは、公平性・高潔性を守ること」と、スポーツが正しい姿で行われることが社会の発展にとって有用であると強調した。

混合の続く難しい時において、オリンピックへの参加は国民にとって、特に若い人たちにとって大きな希望となった」と述べた。

JICAはスポーツ・フォーラムの先につながるスポーツを通じた国際協力をこれからも推進していく。

雄谷理事長が「JICA 理事長賞」を受賞

10月13日、JICA市ヶ谷の国際会議場において第12回JICA理事長表彰の表彰式が行われ、JICAの雄谷良成理事長が、専門家・ボランティア部門で「JICA理事長賞」を受賞した。

雄谷理事長は昭和61年度2次



JICA 理事長賞を受賞した JOCA の雄谷理事長 (右)
写真提供: 久野真一/JICA

隊、養護隊員としてドミニカ共和国に赴任。帰国後は北国新聞の記者を経て、実家の社会福祉法人佛子園に戻り、高齢者や障がい者、若者など多様な人々が積極的にコミュニケーション形成に関わる新しい取り組みとして「シェア金沢」をオープンさせるなど、日本の「生涯活躍のまちづくり」をけん引している。

協力隊事業のうごき

【9月】

9日 パラグアイで日本人移住80周年記念式典開催 JICA ボランティアが眞子内親王殿下のご接見を賜る
(11月4日まで)
30日 2016年度秋募集開始

【10月】

1日 グローバルフェスタ JICA

訓練所に泊まれます

分科会

- A: 岩手・宮城・福島の現状と課題
- B: 災害発生時に私達にできること～職業人として、OVとして～
- C: 福島の実験を未来へ～子どもたちを守るために
- D: 福島の実験を未来へ～人々の生活を支える
- E: 協力隊経験を地域で生かす
- F: 福島の家族会議 After3.11 (ロールプレイ)

申込方法 名前、隊次、職種、派遣国、お住いの都道府県、携帯番号、PCメールアドレス、希望する分科会(第二希望まで)、ふくしま応援ツアーの参加回数を記入し、下記の二本松訓練所の石井範子宛にメールをお送り下さい。

E-mail: Ishii-noriko.3@jica.go.jp

なんでもインフォメーション

OB・OG 同士の掲示板です。OB会、同窓会、イベントやセミナー、進路関係など、皆さまから寄せられた各種情報を掲載します。

● Visit ふくしま 2016

ふくしま青年海外協力隊の会は、昨年まで実施していた「ふくしま応援ツアー」に継続する形で、多くの方々に福島の実験を共有していただきたいと考え、「Visit ふくしま 2016」を企画しました。

対象 青年海外協力隊 OB・OG およびそのご家族、知人、関係者等

日程 12月10日(土)～11日(日)

定員 40名(定員になり次第締め切り)

費用 8000円(二本松訓練所の宿泊費、食費、バス代)

締切 11月25日(金)

11日 第3回短期ボランティア募集(～11月24日)
31日 ラモン・マガサイサイ賞の受賞報告・感謝の集い

6日 帰国ボランティア56人が外務大臣感謝状授与
5日 JICA ボランティア秋募集ウェブ応募開始(11月1日24時まで)
3日 「世界の笑顔のために」プログラム募集(～11月9日)
P AN 2016 に OB 会 31 団 体 が 出 展